冬服上衣	製式	襟	詰襟とし、左右に金色の台地に金色の桜星の金属製の襟章をつける。
		肩章	着脱できるように外側の端をそで付に通し、襟側を金色のボタン一個で留める。肩章飾りを縫い付ける。
		前面	中央に金色のボタン七個を一行につける。胸部の左側に一個ポケットをつける。腰部の左右に各一個のふたつき隠しポケットをつける。
		後面	すそをさかない。
		そで	長そでとする。右そでの上部に黒色で金色に縁をとった布製台地に金色の桜星の飾章をつける。両そでの下部に二条（幹部自衛官及び准陸尉）又は一条（幹部自衛官及び准陸尉以外の自衛官）の平織又はしま織赤線の飾線をつける。
		その他	ボタンは、桜星及び桜葉の浮き彫りを施したものとする。
	形状及び寸法は、図のとおりとする。		
	地質		紺色又は白色の毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
冬服ズボン	製式		長ズボンとし、両わきの縫目の両側に平織赤線の側線各一条をつける。胴回りに六個のバンド通しをつける。すそ口は、シングルとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
	地質		白色の毛織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とする。
夏服上衣	製式		冬服上衣と同じとする。
	地質		夏服上衣と同じとする。
夏服ズボン	製式		冬服ズボンと同じとする。
	地質		冬服ズボンと同じとする。
冬正帽	製式		円型とし、革製の前ひさし及びあごひも並びに金色の丸打ひもの五本編一つ越し編みの飾りひもをつける。前ひさしの表面に赤色のフェルトを張り、その前縁にそって金モール製の模様をつける。あごひもの表面は、黒色のつや消しとし、あごひも及び飾りひもの両端は、帽の両側において、桜星及び桜葉を浮き彫りにした金色の耳ボタン各一個で留める。帽の腰まわりには、黒色のあや織をつけ、一条（幹部自衛官及び准陸尉は太線、幹部自衛官及び准陸尉以外の自衛官は細線）のしま織赤線の飾線をつける。天井の両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。正面中央に一個のはと目をつけ、帽章の附着位置とする。形状は、図のとおりとする。
	地質		冬服ズボンと同じとする。

冬正帽	製式	て、桜星及び桜葉を浮き彫りにした金色の耳ボタン各一個で留める。帽の腰まわりには、黒色のあや織をつけ、一条（幹部自衛官及び准陸尉は太線、幹部自衛官及び准陸尉以外の自衛官は細線）のしま織赤線の飾線をつける。天井の両側に各二個のはと目をつけ、通風口とする。正面中央に一個のはと目をつけ、帽章の附着位置とする。形状は、図のとおりとする。
	地質	夏服上衣と同じとする。
夏正帽	製式	冬正帽と同じとする。
ワイシャツ		白色の綿織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とし、形状は、図のとおりとする。
短靴		黒色又は白色の革製とし、形状は、甲部切り替え部処理をして折り込みなしのシングルとする。形状は、図のとおりとする。
飾緒		金色又は黒色の丸打ひもを三つ編みにし、両端に金色の金属製金具をつける。形状は、図のとおりとする。
帽章		黒色で赤色に縁をとつた布製台地に金色の桜星を配したものとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
階級章	一等陸佐から三等陸尉まで	黒色の布製台地に金線で満線柄の合成樹脂を張り、金色で縁どりした黒色の線と金色の桜星を組み合せたものとする。
	准陸尉	黒色の布製台地に金色で満線柄の合成樹脂を張り、金色で縁どりした黒色の線を配したものとする。
	陸曹長から三等陸曹まで	黒色の布製台地に金色で割線柄の菱形を配し、その上部に金色若しくは灰色で割線柄の山型の線を配したものとする。
	陸士長から二等陸士まで	黒色の布製台地に銀色で割線柄の菱形を配し、その下部に銀色若しくは灰色で割線柄のV字型の線を配したものとする。
	形状及び寸法は、各階級別に図のとおりとする。	
バンド		紺色又は白色の綿織物、化学繊維織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物とし、金色の金属製バックルをつける。形状及び寸法は、別表第二㈠イのバンドと同じとする。
ベルト		黒色の革製とし、金色の金属製バックルをつける。形状及び寸法は、図のとおりとする。
幹部候補者き章		別表第二㈠イの幹部候補者き章と同じとする。
陸曹候補者き章		別表第二㈠イの陸曹候補者き章甲と同じとする。
儀礼刀		別表第二㈠ロの儀礼刀と同じとする。